

第14回定時総会(平成16年度決算総会)開催のお知らせ

5月30日、統合後最初の決算総会が開かれます。東設事協は3月27日に予算総会を開いたばかりですが、この総会とは別に、社団法人として前年度の事業内容と収支決算の状況を報告する決算総会を開催して、その内容を主務官庁の東京都に報告することが義務づけられています。今回、下記の日程で開催される「第14回定時総会」がこの決算総会です。正会員の方々の出席はもちろんのこと、正会員以外の方々もぜひ総会を傍聴してください。総会後に開かれる恒例の「トピック学習会」の演題は、前回から始まったシリーズ「過去を振り返り 現在を見つめ 未来を探る」の第2回目。今回のテーマは「建築設備技術の資格者問題」で、講師は会長の明野徳夫 芝浦工業大学 名誉教授。明野さんはかねてから建築設備士の資格に伴う変遷と歴史的背景を設備に係わる人たちに知ってもらいたいと熱望されており、会員企業の社員、とくに若い技術者たちなど、大勢の方が聴講されることを期待します。つづく第三部は「賛助会員の集い」。賛助会の設立などについての協議が予定されています。第四部は「新緑交流会」。正会員、賛助会員をはじめ全会員が一堂に会して交歓・懇親が繰り広げられます。第三部で賛助会設立が決まれば、第四部は賛助会発足の祝賀会をかねることになります。賑やかで実り多い会にするため、お誘いあわせて多数の方々に参加して下さることを希望します。

記

と き 平成17年5月30日(月)

ところ インテリジェントロビー・ルコ(第一部～第四部とも)

(所在地 東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル1F)

プログラム

第一部 定時総会(14:30~15:30)

議事 第1号議案 平成16年度事業報告承認の件

第2号議案 平成16年度収支決算報告承認の件

第二部 トピック学習会(15:40~16:40)

第三部 賛助会員の集い(16:50~17:50)

第四部 新緑交流会(18:00~20:00)

◆ (社)日設事協の通常総会に出席してください

～[日設事協の活性化を進める会]が呼びかけ

私たち設備設計事務所の全国組織である(社)日設事協の第51回通常総会が次のとおり開かれます。

日時 平成17年5月27日(金) 15:00~17:00

場所 如水会館 3F「松風の間」

(東京都千代田区一ツ橋2-1-1)

TEL.03-3261-1101)

このほど当協会の新日理事たちが発起人となって発足した[日設事協の活性化を進める会]は「正会員の方々は、ぜひこの総会に出席して議案説明に耳を傾け、不明な内容や承認しかねる内容には異議申し立ての質問をしてください」「8年間続いた協会活動の停滞に終止符を打ち、設備設計者の未来に明るさを感じられる協会に改革するため、東設事協正会員の皆様のお力添えを」と、また、「当日どうしても出席できない会員は、委任状に「東京都」、「(株)明野設備研究所」、「明野徳夫」としっかり記載していただき、「会員の押印を忘れなすように」と呼びかけています。

◆ 「明野徳夫さんを日設事協会長に」と会員有志が推薦 ～北海道・東北・関東・九州・沖縄からも応援の声

ことしは(社)日設事協役員改選期です。正副会長や専務理事も新理事会によって改選されます。このときこそ日設事協体質改善と運営合理化の好機とばかり、東設事協の有志が発起人となって「(社)日設事協の活性化を進める会」を創設、明野徳夫さんを日設事協会長に推薦することを決めました。日増しに厳しくなる設備設計事務所の業務環境にあって、設備設計事務所の経営に携る人たちは(社)日設事協が窮状打開を諮るための戦略基地であり、問題解決施策本部であって欲しいと願っています。しかし、現実にはこの8年間、現執行部のもとで協会活動は停滞し、退潮さえ続けて、こころある協会関係者の憂慮を深めてきました。不満の捌け口すらない状況に退会者が続出し、平成10年度末には1422社あった会員が今では1025社に減りました。8年間に28パーセントもの会員が日設事協を見限ったのです。一日も早く設備設計専

業事務所の全国版協会として体質改善を断行し、会員事務所の業務環境改善に一役かう協会へと変容、改革を進めていくことが急務だと、東設事協の有志たちが「(社)日設事協の活性化を進める会」を編成して支援にのりだしました。

一方、東京都に二つあった設備設計の地区協会が本年1月末に統合して一つの専門設備設計事務所協会「社団法人東京都設備設計事務所協会」に生まれ変わりました。これまでの長い間のしがらみを断ち切って一本化の実現ができたのは明野さんの卓越した発想、判断力、指導力、それとそれのお人柄からにじみ出る統率力によるものでした。(社)東設事協は、いま、明野さんの指導で日本の首都東京の公益法人として、着実に関係者が期待する方向へ確かな歩みを始めています。しかし、最終的に私たちが望んでいるのは設備設計事務所が抱える諸問題を日本の国の基準として、あるいは資格として一つ一つ解決していくことです。そこで、解決を迫られている問題が山積となっている「(社)日設事協の会長として難問解決にあたっていただきたい」というのが明野さんを会長に推薦する大きな理由です。

明野さんは旧建設省を経て芝浦工業大学教授(現名誉会長)に就任、学究生活のかたわら建築設備士審査委員会副委員長など数々の委員会や協会の委員、役員を歴任し、高い知名度と建築設備の関係筋に太いパイプを持っておられます。その資質はまさに日設事協会長にぴったりだと有志たちは判断しました。明野さんは、健康面でも、例えば昨年秋、趣味の写真と登山で、標高5500メートルあたりのヒマラヤ山系を酸素マスクなしで登攀されるなど、四、五十歳代の人たちも舌を巻くほど充実した体力、気力の持ち主。ぜひ、(社)日設事協会長に立候補していただき、設備設計業界改革のために存分に力を発揮していただきたいと、北海道、東北、九州の地区協会からも日設事協会長推薦と応援の声が届いています。どうか、会員の皆さんの絶大なご支援をお願いします。

なお、「(社)日設事協の活性化を進める会」の発起人には、協会理事やこれまでの新東設事協時代の理事である設備設計事務所の代表者18名が名を連ねています。